

<続き>

私は小学校3年生の頃から教会に通っていましたが、イエス様を信じることはできませんでした。信じたくても、どうしても信じる事が出来なかったのです。そんな私が日本に来て、平日はプロテスタント教会の牧師を養成する神学校で教え、日曜日には牧師のいない教会で聖書の御言葉を伝える宣教師となりました。しかし、今もなお、心の中で問い続けていることがあります。それは、「信仰とは一体何なのか?」、「私は本当にイエス様を信じているのだろうか?」という問いです。

イエス様のことを知っていながら、まだ信じる事ができない方、または、イエス様を信じるとはどういうことかを知りたい方は、ぜひ10月20日(日)和歌山教会にお越しください。イエス様がきっと、あなたにその答えを示してくださることでしょう。

「 講師より 」

はじめまして。当教会の牧師 李東隼(イ・ドンジュン)と申します。

私は学生時代、交換留学生として来日し、多くの日本の方々にお世話になりました。日本の人々のために自分に何ができるかと真剣に考えた時、聖書の福音(良い知らせ)を述べ伝えることが一番良いという日本宣教の志が与えられました。

今回 秋の伝道集会において神戸改革派神学校でお働きをしておられる金 昭貞(キム・ソジョン)宣教師をお迎えし、聖書の解き明かしを聞きたいと願っています。聖書やキリスト教に興味のある方、或いは 初めての方も昔行ったことがある方も、心から歓迎いたします。ぜひ教会にいらしてください。

「 当教会の牧師より 」